



34th 龍神まつり 2006 夏



龍神太鼓保存会【鼓響】

龍神まつりと言えば「鼓響」と答える人がいるほど、欠かせない太鼓演奏。練習を積み、落ち着きとまとまり、律せられた無駄の無い動きから生まれる響きは、観衆を魅了する。今年も鼓響は、音を体で感じさせてくれ、目も楽しませてくれた。粋な立ち居振る舞い、伝統は、「龍神子ども太鼓」にも継承されている。



出発式～開眼

御神酒をあげ、12:00に龍神の杜公園を出発した龍は真楽寺で開眼。目覚めた龍は三重の塔を背に観衆に舞を披露。再び街へ向かう。

真楽寺、静寂を打ち破る太鼓の響き、龍の咆哮。龍神まつりの始まりを告げる。今年も町制施行50周年。龍神まつりは観光夏祭りから数えて34回目を向かい、真楽寺、駅前、龍神の杜公園で町民と観光客がまつりに酔いしれました。



孫と仲間と、じいちゃんばあちゃんと【舞踊流し】

駅前ロータリーに笑顔が集まる。舞踊流しは区や企業、各種団体、参加は自由。様々な趣向を凝らして踊らにヤソソソ。



双子の子龍もそろって大盛況【駅前会場】

駅前会場で、親龍、三郎・舞姫が真楽寺からやって来るのを待ちわびていた観衆。その観衆の中を親龍と一緒に会場狭しと駆け回る双子の子龍、雪窓丸と龍神丸。観衆は惜しめない拍手と「頑張れ!!」と声援を送ってくれました。

